



パルシステム理事長合宿が「日本のこめ豚」の産地、ポークランドグループ、ミートランドで開催されました

パルシステムの第20期理事会の体制刷新に伴い、連帯・協同推進に向けた課題認識の共有と理事長間の親睦を図るとともに、厳しい情勢下にある畜産事業の現状と、パルシステムグループが推進する「日本型畜産」の取り組み(日本のこめ豚・飼料用米)を学ぶことを目的とした理事長合宿が、ポークランドグループの農場がある秋田県小坂町で2025年10月6日(月)~7日(火)の日程で開催されました。



10月6日(月)

1日目は日本のこめ豚の生産農場である「バイオランド」を見学していただきました。ポークランドグループ到着後、専用長つと防護服に着替え、当グループのマイクロバスに乗り換え、農場へ向かいました。

はじめに生命の源である飲み水を作る「飲水プラント」を見学し、農場全体の説明とともに、当社が取り組んでいる「BMW技術」について説明を行いました。豚を健康に育てるための工夫に、参加者は熱心に耳を傾けていました。その後、バイオベット(発酵床)豚舎へ移動し、車窓からはありましたがバイオベットでの飼育風景を見学していただきました。豚達が元気に走り回る姿に「かわいい」と歓声があがり、動画撮影される方もいました。



農場見学後、会場を移して行われた学習会ではポークランドグループのこれまでの取り組みについて代表の豊下より説明させていただき、農場の見学とあわせて理解を深めていただきました。

また懇親会では参加者の皆さんがピンクの衣服や小物を身につけ、以前ポークランドグループで動画撮影をしたダンス「A●B48」の「恋するフォーチュンクッキー」理事長Ver.を披露してくださいました。また手作りのうちわも用意してくださり心温まる時間となりました。



10月7日(火)

2日目は十和田湖を一望できる発荷峠で記念撮影を行ったのち、ポークランドグループの食肉加工施設「まんまランド」にて施設の概要・取り組みについて説明していただきました。

その後、生きた豚をお肉にする食肉処理施設「ミートランド」へ移動し、処理工程を見学しました。

この日に用意した昼食は「まんまランド」で作った「比内地鶏のきりたんぽ」。「日本のこめ豚きりたんぽ」のほか、日本のこめ豚を原料としたコロッケやメンチカツなどのお惣菜。ポークランドグループがある秋田県北秋田エリアはきりたんぽ発祥の地でもあります。



昼食をとりながら行われたためでは参加者の皆さんから日本のこめ豚に対する温かな言葉、思いを感じる言葉が来りました。合宿前の準備をまとめた映像を見て涙を流される理事もありました。今回の理事長合宿では実際に産地へ来ていただき、生産現場や加工現場を見ていただくことで新たな発見や日本のこめ豚への理解を深めていただくことができたのかな?と思います。パルシステムとの産直取引はこのような作り手と消費者がお互いの顔が見える関係であることが最大の強みだと改めて感じたのでした。

パルシステムが組合員さん向けに開催している商品展示会へ“生産者”として参加して、ポークランドグループが育てる「日本のこめ豚」をPRさせていただきました!

パルシステムでは会員生協ごとにパルシステムで取り扱っている商品を広く知っていただくために商品展示会を開催しております。商品展示会は全国の産地・メーカーが大集合し、パルシステムの商品試食や一部販売を実施するイベントです。その商品展示会へ日本のこめ豚の生産者として参加して、組合員さんと直接、交流していただきました。

2025年9月27日(土) パルシステム福島 商品展示会 (会場:ビックパレット)

日本のこめ豚のローススライスのしゃぶしゃぶを試食として提供しました。会場には多くの来場者が訪れ、試食後に「おいしい」と何度もブースに足を運んでくださる方の姿もみられました。また、今回初めて「日本のこめ豚」を知った方にも味わっていただき、その魅力を伝える良い機会となりました。ブースで上映したバイオベット豚舎の映像にも関心が集まり、親子で来場された方は「豚さんの命をいただいているのだから、感謝して食べようね」お話をいただきました。生産現場を知っていただくことで、食や命の大切さを感じていただく貴重な機会となりました。



2025年11月15日(土) パルシステム埼玉 商品展示会 (会場:さいたまスーパーアリーナ)

日本のこめ豚のローススライスをしゃぶしゃぶにして試食提供を行いました。ブースへ足を運んでくださる組合員さんが多く一時は調理が追い付かず、午後の部では約1時間で肉がなくなってしまう盛況ぶりでした。試食を提供しながら組合員と交流する時間が多く、たくさんお声がけいただき非常に嬉しく思いました。また飼料用米や飼育方法などについての質問も多く、「日本のこめ豚」への関心の高さを改めて感じました。実際に味わっていただくことで理解と信頼が深まる貴重な機会となりました。

このほかにもパルシステム群馬さんやパルシステム新潟ときめきさん、パルシステム茨城 栃木さん、パルシステム山梨 長野さんの商品展示会へ参加しました。



2025年10月11日(土) パルシステム群馬 商品展示会 (会場:ピエント高崎 ビックキューブ)



2025年11月16日(日) パルシステム新潟ときめき 商品展示会 (会場:新潟市産業振興センター)



2026年1月10日(土) パルシステム茨城 栃木 商品展示会 (会場:日立シビックセンター)



▼飼料タンク上の積雪

農場がある秋田県鹿角郡小坂町と北秋田市は記録的な大雪に見舞われました



今年の冬は全国各地で記録的な大雪という、ニュースが連日放送されたのは記憶に新しいところですが、ポークランドグループの農場がある秋田県鹿角郡小坂町と北秋田市も例外ではなく、1月31日午後5時時点の積雪深は鹿角で133cm(平年比283%)、北秋田市農産では149cm(平年比292%)と平年より3倍近い積雪を記録しておりました。

※積雪深(せきせつしん)とは、ある特定の時刻に地面に積もっている雪の深さ(厚み)のこと。



ポークランドグループの農場でも降り積もった雪と屋根に積もった雪がつかぬがるほど!雪の重みで豚舎の壁が押されたり、窓ガラスが破損したほか、飼料保管用タンクの上に積もった雪が落下し、飼料を豚舎内へ搬送するラインが破損するなどのトラブルが多発!!

そのため降り積もった雪で豚舎が倒壊しないよう、通常の仕事のほか重機を使っての排雪作業も大きな負担となっております。

雪が少ないと夏場の水不足が懸念されるので、ある程度の降雪が必要です。雪が多い今年の水不足の心配はないと思いますが、あまりに多いのも困りものです。



ポークランドグループスタッフ紹介 2025年度 新しく総勢6名が入社しました!

<p>小林 恭平 MS TRAINING BASEの管理運営、およびトレーナーを務めます。目標のものはいつでも常に、積極的に動く(も身事)の提供、現場の活力を身体力行から支え、皆さんの挑戦をサポートします。 令和7年4月入社</p>	<p>小野 愛葉 慣れないことが多いですが、周囲の方に助けられ楽しく働いています。初心を忘れず頑張ります! 令和7年4月入社</p>	<p>豊田 雅 慣れないことが多いですが、周囲の方に助けられ楽しく働いています。初心を忘れず頑張ります! 令和7年10月入社</p>	<p>クリスマウン ユリアント ちくさんのごことにまじめにとりくみ、まいにちまなびながらせいでいこうと思っています。にはんのはらきかたをりかいたいです。 令和7年10月入社</p>	<p>ヘルナンド・カルサ 日本でもうとんについてまなびたいです。インドネシアにまこくしたあとでじっしゅうをしたいとおもっています。 令和7年10月入社</p>	<p>アリウイラヨヤダバババット 皆にやさしくしごとをおしえてもらっています。これからもがんばっていきます。 令和7年10月入社</p>
---	---	---	---	--	---